

◎令和4年産米づくりのポイント <土づくり～移植期前まで>

〈土づくり〉

○有機物やケイ酸資材等土づくり資材を投入しましょう。

土づくり資材投入はどんな天候にも対応できる稲体をつくります。

○耕深 15cm を確保し、健全な根の生育環境づくりを行いましょう。

〈健苗づくり〉

○苗代の準備を万全に

今年は積雪が多く、例年以上に融雪に時間がかかることが想定されます。苗代予定地の融雪を進めましょう。また、育苗用の資材、設備等の準備を早めに行い、計画的な播種、育苗管理に努めましょう。

○充実した苗づくりが大切。田植え日に合わせ計画的に播種作業を行いましょう。

苗の老化は活着不良、初期生育の停滞を招きます。育苗期間を遵守し、計画的に移植しましょう。育苗中の病害・温度障害を防ぐため、こまめな温度管理をしましょう。

◎ 種子予措

～まずは良い苗づくりからスタート！～

1. 塩水選

- ・塩水を作る際の比重は、うるち 1.13、もち 1.08 で行います。
- ・塩水選後は、きれいな水でよく洗いましょう。

	比重	水 10ℓ 当り 食塩の量(目安)
うるち	1.13	2.1kg
もち	1.08	1.3kg

◎作業の前に「比重計」や「卵」などで確認を！

2. 種子消毒

①薬剤処理の場合

- ・必ず使用方法(希釈倍数、使用時期、使用方法)を遵守しましょう。
- ・薬液の温度が低いと効果が劣る場合があります。10℃以上の水温を確保しましょう。

②温湯浸法の場合

- ・58℃20 分間又は 60℃15 分間で行います。浸漬後直ぐに冷水で冷やし、水漬けに入ります(古い種子やもち品種は発芽率低下の可能性あります)。

3. 浸種 ～温度計で温度の確認をしましょう～

①浸種開始時の水温は 10℃以上(ただし 15℃未満)になるよう調節しましょう。

②浸種開始時の水温が低すぎると、発芽率が低下することがあります。

- ・水温 10～15℃で 8～12 日間程度行います。積算水温で 120℃(モチは 100℃)を確保します。播種日から逆算して水漬けを始め、必ず水温を確認しましょう。
- ・2～3 日毎に水交換を行い、袋の位置(上下)を入れ替えて吸水ムラを防止します。

4. 催芽

- ・催芽は、30～32℃で 20 時間を目安とし、ハト胸状態を確認して終了しましょう。

◎ 播 種 ～良い苗を適期に植えられるよう計画的に～

・苗の老化は、活着不良や初期生育が遅れる要因となります。

田植えの計画に合わせて逆算して播種日を決めましょう。

特に、高密度播種苗は育苗期間が長くなると苗の老化が顕著になります。

◎作業時期の目安【5月20日田植えの場合】

苗の種類	播種量 (乾粃 g/箱)	水漬け日	催芽日	播種日	育苗期間	葉数 5/20
稚苗	150～180g	4月12日	4月24日	4月25日	20～25日	2.5枚
中苗	80～120g	4月2日日	4月14日	4月15日	30～35日	3.5枚
高密度 播種苗	240～300g	4月17日	4月29日	4月30日	15～20日	2.0枚

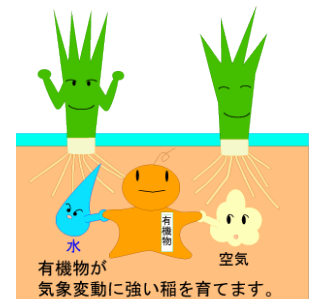
田植え日から逆算して
計画的に！

◎ばか苗病対策 ～育苗床の周りにモミ殻などありませんか～

- ・ばか苗病を保菌している稲ワラやモミ殻、施設や機材に付着した菌などが感染の原因となることがあります。育苗ハウス内や資材をきれいにし、種子や苗を置く周辺の稲ワラやモミ殻は必ず撤去しましょう。前年ばか苗病が多発した場合は特に念入りに確認を！
- ・水漬け温度が 15℃を超えるとばか苗病の発生を助長する場合がありますので、水温に気を付けましょう。特に日の当たる場所に水槽がある場合は要注意です。
- ・高密度播種苗の場合、特に箱施用剤の使用量に注意しましょう。薬剤によって使用量が異なるので、ラベルを確認し適正量で使用してください。

◎土づくり～天候不順に負けない、おいしい米づくりは、「土づくり」から～

- おいしいお米を生産するためには、「土づくり」をしっかり行い根の活力を高め、必要な時期に十分な養分を吸収できるイネづくりが重要。
- ・堆肥などの有機物を適正に使用しましょう。
(堆肥の種類や施用量に応じて基肥は減肥しましょう)
- ・土づくり肥料の積極的な散布を心掛けましょう。
近年の土壌分析結果では、pH が低く、ケイ酸が不足気味です。石灰資材やケイ酸資材を積極的に施用しましょう。
- ・根圏耕土層を改善するため、耕深は 15cm を確保しましょう。



春季農作業事故防止強化期間 4/10～6/10

- ・積雪量を考慮し、育苗に支障のないように準備しましょう。
- ・計画的に余裕をもって農作業に取り組みましょう。
- ・農機具の点検を行い、未然に事故を防ぎましょう。